

H3 649b

整理番号 9400198A

発送番号 211898

発送日 平成12年 7月25日 1 / 3

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成 6年 特許願 第070486号
起案日	平成12年 7月18日
特許庁審査官	繁田 えい子 9342 4G00
特許出願人代理人	内田 明 (外 2名) 様
適用条文	第29条第1項、第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の特許公報に記載された発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。

記

- ・請求項 2 50
- ・引用文献等 1. 特開昭54-74591号公報
- 2. 特開昭63-147521号公報
- ・備考

引用例1には、白金族金属を耐熱性担体に担持させた触媒を用いてアンモニアガスを分解することに関して記載されており、白金族金属としてイリジウムが、耐熱性担体としてアルミナ、シリカアルミナ、チタニアが挙げられている。第1頁左下欄第10行～第12行、第2頁右上欄第1行～第11行等参照。

本願請求項2に係る発明と引用例1に記載された発明との間に実質的な差異は認められない。

続葉有

00.009

発送番号 211898
 発送日 平成12年 7月25日 2 / 3

続 葉

引用例2には触媒担体に金属を担持させた触媒を用いてアンモニアガスを分解することに関する記載があり、触媒担体としてアルミナ、ジルコニアが挙げられており、金属としてイリジウムが挙げられている(特許請求の範囲第1、2項、第3頁右下欄第8行～第20行、第4頁左上欄第14行～右上欄第3行等参照)。

本願請求項2に係る発明と引用例2に記載された発明との間に実質的な差異は認められない。

2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の特許公報に記載された発明に基づいて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

- ・請求項 2
- ・引用文献等
 - 1. 特開昭54-74591号公報
 - 2. 特開昭63-147521号公報
 - 3. 特開平5-146634号公報

・備考

引用例3には貴金属をゼオライト、アルミナに担持させた触媒がアンモニア分解能を有することに関して記載されている(請求項1、2、第13段落～第16段落等参照)。

引用例3には貴金属としてイリジウムを使用することに関しては記載されていないがアンモニア分解触媒の活性金属としてイリジウムを用いることは引用例2、3に記載されており、格別のものではない。

また、アンモニア分解能を有する触媒を用いてアンモニアガスを分解することとしたことに格別の困難性があつたとは認められない。

なお、請求項2に挙げられた触媒担体は、触媒担体として通常用いられている程度のものと認められる。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

続葉有

発送番号 211898
発送日 平成12年 7月25日 3 / 3

続 葉

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 I P C第7版 B01J21/00-37/36, B01D53/86

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

example of the platinum group metal, and alumina, silica alumina, and titania with an example of the heat resistant carrier (see page 1, left lower column, lines 10-12, page 2, right upper column line 1-11).

No substantial difference is recognized between the invention relating to the present claim 2 and Reference 1.

Reference 2 discloses that an ammonia gas is decomposed using a catalyst carrying a metal in a catalyst carrier and, as the catalyst carrier. Reference 2 explains alumina and zirconia with an example of the catalyst carrier, and iridium with an example of the metal. (see claims 1 and 2, page 3, right lower column, lines 8-20, page 4, left upper column, line 14 to right upper column, line 3).

No substantial difference is recognized between the invention relating to the present claim 2 and Reference 2.

2. The present invention of this application claimed in the claims pointed out below is unpatentable under the provisions of Section 29(2) of Patent Law, since the invention could have easily been thought of by anyone who had general knowledge in this art field before the filing, based on the invention described in the below-mentioned publication(s) which was/were distributed in Japan or in a foreign country before the filing date.

Claim: 2

References:

1. Japanese Patent Provisional Publication No.54-74591
2. Japanese Patent Provisional Publication No.63-147521
3. Japanese Patent Provisional Publication No.5-146634

Note:

Reference 3 discloses that a catalyst carrying a noble